

## 2019年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年12月3日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東  
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197  
 四半期報告書提出予定日 2018年12月13日 配当支払開始予定日 2019年1月15日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年4月期第2四半期の連結業績 (2018年5月1日～2018年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第2四半期	275,468	3.6	13,212	△8.9	13,819	△5.4	8,698	△5.9
2018年4月期第2四半期	265,883	3.0	14,496	1.2	14,603	7.9	9,246	3.6

(注) 包括利益 2019年4月期第2四半期 9,215百万円 (△11.4%) 2018年4月期第2四半期 10,398百万円 (52.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第2四半期	70.00	69.83
2018年4月期第2四半期	74.11	73.92

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下(参考)をご覧ください。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第2四半期	306,172	149,008	48.2
2018年4月期	301,167	143,750	47.3

(参考) 自己資本 2019年4月期第2四半期 147,621百万円 2018年4月期 142,536百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2019年4月期	—	20.00	—	—	—
2019年4月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下(参考)をご覧ください。

### 3. 2019年4月期の連結業績予想 (2018年5月1日～2019年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	507,800	2.6	23,000	4.3	22,500	4.9	14,000	11.5	111.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下(参考)をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期2Q	89,212,380株	2018年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	2019年4月期2Q	660,832株	2018年4月期	499,602株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年4月期2Q	88,582,223株	2018年4月期2Q	88,699,004株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第2四半期	75.00	74.82
2018年4月期第2四半期	79.11	78.92

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2019年4月期	—	25.00			
2019年4月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	121.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年4月期2Q 34,246,962株 2018年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

2019年4月期2Q 984,812株 2018年4月期 837,653株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年4月期2Q 33,303,033株 2018年4月期2Q 33,784,288株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより、景気の緩やかな回復が続きました。

飲料業界におきましては、根強い節約志向の継続により、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。なお、特別損失として、自社の品質基準に達していない一部製品の廃棄等に関連する費用として6億73百万円、「平成30年7月豪雨」などによる災害関連費用として81百万円を計上しております。

売上高	2,754億68百万円（前年同期比3.6%増）
営業利益	132億12百万円（前年同期比8.9%減）
経常利益	138億19百万円（前年同期比5.4%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	86億98百万円（前年同期比5.9%減）

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### <リーフ・ドリンク関連事業>

##### [国内茶葉（リーフ）製品]

昨年に続き本年も10月1日「日本茶の日」（※）に合わせて、当社社員（伊藤園ティーテイスター資格保有者など）による日本茶の魅力をお伝えする催し「お茶をたのしむ わくわく大茶会」を全国の量販店などで一斉に開催いたしました。「お〜いお茶 1000」などの急須でいれるリーフ製品や「お〜いお茶 さらさら抹茶入り緑茶」などのインスタント製品を中心に、日本茶のおもてなしを行いました。また開催地によっては、「おいしいお茶のいれ方セミナー」や「抹茶アート」なども実施しました。このような活動を通して、日本茶の魅力をお伝えし、日本茶リーフ市場の活性化を図ってまいりました。

（※）「日本茶の日」とは：

1587（天正15）年10月1日、豊臣秀吉が京都府京都市にある北野天満宮にて「大茶会」を開き、身分関係なく多くの方とお茶を楽しみ、お茶を広めました。このことから、当社が10月1日を「日本茶の日」と制定しました。（日本記念日協会 2002年制定）

##### [国内飲料（ドリンク）製品]

本年5月に発売いたしました、フレッシュでやわらかな味わいの新しい緑茶飲料「お〜いお茶 新緑」が発売約3ヶ月で販売数量100万ケースを突破するなど、より多くのお客様に高い評価をいただいております。また9月には、これから迎える秋冬季に、ゆっくり時間をかけて飲用いただいても、電子レンジで再加温することにより温かい状態で最後までおいしく味わっていただけるホット対応「お〜いお茶」シリーズを発売いたしました。

ノンカフェイン茶系飲料No.1である「健康ミネラルむぎ茶」においては、無糖、カフェインゼロ、カロリーゼロで水分・ミネラルを手軽に補給できる飲料として、熱中症対策だけではなくスポーツ時にも、より多くのお客様にご愛飲いただいております。

コーヒー飲料である「TULLY'S COFFEE」は、コーヒー豆・焙煎・抽出にこだわり、最高の一杯を追求するタリーズのバリスタが監修したプロフェッショナルクオリティーの飲料として成長を続けており、お客様の多様な嗜好に沿った製品を展開し、「TULLY'S COFFEE」ブランドのさらなる販売強化を図っております。

##### [海外茶葉（リーフ）製品]

米国、中国を中心に「グローバルブランド」で展開する「MATCHA GREEN TEA」の積極的な販売を継続して行ってまいりました。

## [海外飲料(ドリンク)製品]

ITO EN (North America) INC. において、和食や抹茶の世界的ブームや健康志向の高まりを背景に、「お〜いお茶」などの無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。また、米国を中心にコーヒー豆の栽培から販売までを行うDistant Lands Trading Co. において、主要顧客であるフードサービスチェーンへの当社グループ製品の販売など、引き続きシナジー効果を追求してまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は2,550億50百万円(前年同期比3.4%増)となり、営業利益は114億81百万円(前年同期比11.3%減)となりました。

## &lt;飲食関連事業&gt;

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、季節限定ビバレッジ「カaramelパンプキンラテ」をベアフル®スリーブ付で発売いたしました。また、好調な紅茶カテゴリーに続き、「ほうじ茶ショコラクリームラテ」などを発売し、ご好評をいただいております。また、フードではご好評いただいております「クラシックパンケーキ」に加え、本年9月には「ブリュッセルワッフル」を発売し、スイーツも好調に推移しました。新規出店も順調に進み、総店舗数は720店舗になりました。

引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は169億74百万円(前年同期比6.6%増)となり、営業利益は18億75百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

## &lt;その他&gt;

売上高は34億43百万円(前年同期比1.3%増)となり、営業利益は4億83百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

総資産は3,061億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億4百万円増加いたしました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が13億46百万円増加、「商品及び製品」が21億93百万円増加、「原材料及び貯蔵品」が15億87百万円増加したことによるものです。

負債は1,571億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億52百万円減少いたしました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が15億67百万円増加、「未払費用」が11億58百万円増加、「リース債務」が26億77百万円減少したことによるものです。

純資産は1,490億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億57百万円増加いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が86億98百万円増加、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が26億9百万円減少、自己株式の取得により「自己株式」が13億78百万円減少したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、121億38百万円の収入(前年同期は112億46百万円の収入)となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益133億16百万円、減価償却費66億46百万円であるのに対し、減少要因としてたな卸資産の増減額が35億17百万円、法人税等の支払額36億13百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、50億49百万円の支出(前年同期は57億74百万円の支出)となりました。これは主に、設備投資による支出54億20百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、82億9百万円の支出(前年同期は81億7百万円の支出)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出13億78百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出35億21百万円、配当金の支払26億6百万円があったことによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は604億35百万円となり、前連結会計年度末と比べ9億41百万円減少いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年6月1日に発表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,664	61,376
受取手形及び売掛金	58,083	59,429
商品及び製品	30,833	33,026
原材料及び貯蔵品	7,875	9,462
その他	12,451	14,132
貸倒引当金	△69	△81
流動資産合計	170,838	177,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,592	22,692
土地	21,745	21,839
リース資産(純額)	24,010	21,577
その他(純額)	17,474	18,671
有形固定資産合計	84,822	84,780
無形固定資産		
のれん	16,364	15,697
その他	5,224	4,728
無形固定資産合計	21,588	20,426
投資その他の資産		
その他	24,197	23,884
貸倒引当金	△279	△265
投資その他の資産合計	23,918	23,619
固定資産合計	130,329	128,826
資産合計	301,167	306,172
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,879	31,446
短期借入金	2,020	2,030
リース債務	7,002	5,946
未払費用	25,896	27,054
未払法人税等	3,948	4,834
賞与引当金	3,480	3,580
その他	4,961	4,167
流動負債合計	77,187	79,060
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	45,922	45,222
リース債務	10,282	8,661
退職給付に係る負債	9,922	10,053
その他	4,101	4,166
固定負債合計	80,228	78,103
負債合計	157,416	157,163

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,645	18,640
利益剰余金	110,066	116,080
自己株式	△2,798	△4,069
株主資本合計	145,826	150,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,951	2,623
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	337	946
退職給付に係る調整累計額	△525	△459
その他の包括利益累計額合計	△3,289	△2,942
新株予約権	97	101
非支配株主持分	1,116	1,285
純資産合計	143,750	149,008
負債純資産合計	301,167	306,172



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)
売上高	265,883	275,468
売上原価	139,644	145,957
売上総利益	126,238	129,511
販売費及び一般管理費	111,742	116,299
営業利益	14,496	13,212
営業外収益		
受取利息	25	39
受取配当金	42	44
為替差益	217	485
持分法による投資利益	81	152
その他	287	257
営業外収益合計	654	979
営業外費用		
支払利息	355	249
その他	191	122
営業外費用合計	547	372
経常利益	14,603	13,819
特別利益		
固定資産売却益	8	3
固定資産受贈益	23	2
投資有価証券売却益	0	515
その他	0	15
特別利益合計	33	536
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	22	135
投資有価証券評価損	—	8
減損損失	237	140
たな卸資産廃棄損	—	673
災害による損失	—	81
特別損失合計	260	1,039
税金等調整前四半期純利益	14,376	13,316
法人税等	5,026	4,429
四半期純利益	9,349	8,886
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	188
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,246	8,698

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)
四半期純利益	9,349	8,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	694	△417
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	230	599
退職給付に係る調整額	58	66
持分法適用会社に対する持分相当額	64	80
その他の包括利益合計	1,049	328
四半期包括利益	10,398	9,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,271	9,045
非支配株主に係る四半期包括利益	127	170

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,376	13,316
減価償却費	6,523	6,646
減損損失	237	140
のれん償却額	889	888
賞与引当金の増減額(△は減少)	△87	100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	322	226
たな卸資産廃棄損	—	673
災害損失	—	81
受取利息及び受取配当金	△68	△83
支払利息	355	249
為替差損益(△は益)	△230	△455
固定資産廃棄損	22	135
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△515
売上債権の増減額(△は増加)	△880	△1,204
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,190	△3,517
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△44	△2,031
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,328	1,496
未払消費税等の増減額(△は減少)	323	△426
その他の流動負債の増減額(△は減少)	651	1,005
その他	△211	△816
小計	15,660	15,909
利息及び配当金の受取額	71	87
利息の支払額	△357	△246
法人税等の支払額	△4,128	△3,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,246	12,138
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,109	△5,420
投資有価証券の売却による収入	0	730
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△664	△359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,774	△5,049
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	117	10
長期借入金の返済による支出	△766	△700
自己株式の取得による支出	△10	△1,378
自己株式の処分による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,625	△3,521
配当金の支払額	△2,617	△2,606
非支配株主への配当金の支払額	△195	△4
その他の支出	△9	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,107	△8,209
現金及び現金同等物に係る換算差額	203	179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,430	△941
現金及び現金同等物の期首残高	64,202	61,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,771	60,435

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2017年5月1日 至 2017年10月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	246,564	15,918	3,399	265,883	—	265,883
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	193	9	1,536	1,740	△1,740	—
計	246,758	15,928	4,936	267,624	△1,740	265,883
セグメント利益	12,948	1,655	520	15,124	△628	14,496

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△748百万円、セグメント間取引119百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	255,050	16,974	3,443	275,468	—	275,468
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	215	6	1,516	1,738	△1,738	—
計	255,266	16,981	4,960	277,207	△1,738	275,468
セグメント利益	11,481	1,875	483	13,840	△628	13,212

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△748百万円、セグメント間取引119百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。